

未来に届ける映画

見えないから
見えたもの

拝啓 竹内昌彦先生

自主上映会 開催要項書

2015.6.25

映画「見えないから見えたもの」をみんなで広める会
地域上映会事務局

〒700-0925 岡山市北区大元上町 12-11

TEL.086-242-3535 FAX.086-242-3311

※開催要項内容は予告なく変更する場合がございます。

1.はじめに

戦後、奇跡の復興を遂げた私たちの国、日本。

先人たちの血のにじむ苦勞によって平和な今があります。

高度経成長時代のお陰で国民は随分豊かになり、豊かになればなるほど、人はさらに食欲になるのが常。

その陰でたくさんの大切なものが置き去りにされ”いじめ”や”自殺”などの悲しい社会問題が日常化しています。

願わくば、この国の子供たちがこの映画を観て、逆境をはね返す強い心を養い、学ぶことに対する尊い意義に目覚め、心豊かな未来をあゆまんことを。

○映画「見えないから見えたもの」～拝啓 竹内昌彦先生～ストーリー

昭和二十年二月十七日、竹内昌彦は父の赴任先である中国天津で生まれた。その僅か半年後、終戦の日を境に、天津の日本人の生活は一変した。許された最低限の荷物を持って、日本に引き揚げることになった一家は、遠い道のりを無事港へとたどり着いた。何も知らぬまま日本行きの船に乗せられた産まれたばかりの赤ん坊はこのとき、栄養も薬も無い船の上で肺炎の高熱に襲われた「この子は助からん。死んだら日本海に捨てるしかないだろう。」乗り合わせた医者に、ここまで言わしめた昌彦だったが、奇跡的に助かる。

5年後まず右目に重大な病気の爪痕が露呈する。「ひんがら目のちび」同級生のいじめが始まった。父の転勤で矢掛町から岡山市へ転校したあともいじめは続いた。しかし、昌彦の昌彦たる所以。彼は「心も身体も強かった」消火器の泡、砂場の砂、あらゆるものを味方につけ、いじめに立ち向かった。

そんな竹内を人との出逢いを変えてゆく。恩師、島村先生は、この時代からすでに、障害者を自発的にいたわろうとする気持ちをクラスに根付かせていった。

1953年、完全失明の兆候が忍び寄っていた。大学病院で母は言った。「私たちの親の目を、一つこの子に分けてやるわけにはいかんのですか。」完全に視力を失った昌彦は盲学校へ。

「オール5」を取った昌彦に担任の先生が言った言葉が、彼のその後の人生の指標となる。「あなたは自分の成績だけが良かったらいいと思っているでしょう。勉強がようわからんで困っている友達に親切に教えてあげられるようになったとき、あなたの『5』は本物になるんだよ。」

「目が見えんのじゃから体ぐれえは丈夫に作っとかにゃあいけまあが。」父は近郊の山登りで徹底的に彼を鍛える。目は見えないが、頑強な精神と、肉体を併せ持つ若者がこうして誕生した。

昭和39年、東京パラリンピックの選手に選ばれた昌彦。当時の岡山駅に関係者が集まった。発車のベルが鳴り終り、列車は動き出す。ふだん大人しい父が、いきなり大きな声で「竹内昌彦、バンザ〜イ！バンザ〜イ！」それはやがて大合唱に広がった。「竹内昌彦、バンザ〜イ！」誰もが悟った。その万歳こそは、全盲の我が子をここまで立派に育て上げた、父の勝利宣言だった。

文字通り、昌彦の旅はここから始まる。しかし、それは苦難との戦いの連続。親の反対を乗り越えての結婚。盲学校の教師として経験してゆく感動や挫折。それらは大きなうねりとなって「夢の実現」へと彼を導いてゆく。知れば知るほど、この波乱万丈の物語は、単なる視覚障害者のサクセスス

トリーなどという範疇では語りきれない。

○独自の経験をもとに、いじめに立ち向かうための

貴重なヒントを示しながら、「命の大切さ」を説き続ける竹内昌彦先生。

毎日のように、テレビ・新聞で取り上げられる子どもの「いじめ」「自殺」のニュース。発生件数は文部科学省の発表では平成23年度、小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数は7万件。そして、いじめによって子どもが命を絶つという痛ましい事件は前年度より28.2%も増加しています。子どもたちにとって学校は安心、安全な場所でなければなりません。いじめを生む素地をつくらない、そのために、子どもたちに必要なのは「命の大切さ」「人権の尊厳」について学んでもらうこと。竹内昌彦先生はご自身が全盲のハンディを負いながら、自らの体験談を講演することで一人でも多くの子どもの命を救いたいと、実に年間150~60の壇上に立たれています。今の時代にどれほどの大人が「正しい人間の在り方」を子ども達に伝えられるのでしょうか。私たちは、竹内昌彦先生の貴重な経験を通して子どもたちの命を守りたいと思っています。

2. 映画「見えないから見えたもの」 自主上映会とは？

あなた、もしくはある団体や組織が、「見えないから見えたもの」の上映会を「企画主催」して、観賞者へメッセージを届け、様々な社会課題を考える場を設けることを、「自主上映会」と呼びます。主催団体様は、「見えないから見えたもの」地域上映会事務局より、上映用作品ディスクを預かり、上映会場を用意し、観賞者を集めて、「自主上映会」を開催します。

無料上映会とは、 お客様からお金をいただかない上映会になります。

有料上映会とは、 お客様からお金をいただく上映会になります。

無料・有料上映会の開催はどちらでも自由ですが、
有料上映会入場料は上限1,000円までとしてください。

※お願い：映画製作協力券を持たれている方が来場された場合は、柔軟なご対応をお願いいたします。

3. 「上映会」までの道のり！

1) 上映会の「趣旨・目的」を確認してください。

「見えないから見えたもの」上映会は、以下のような「趣旨・目的」などで開催されています。

- 社会問題や地域づくりをテーマとした上映イベント
- 学校の文化行事や学園祭などの啓発行事
- 地域社会の課題を考える上映会
- 企業・団体などによる社会活動としての上映会

2) 「主催者」を決めて、「自主上映会申請書」を事務局へ FAX ください。

映画「見えないから見えたもの」自主上映会を希望される方は、自主上映会申請書に必要事項をご記入の上、FAX.086-242-3311 までお送りください。記載内容のチェック後、上映会の可否をご連絡させていただきます。主催（個人でも団体・組織でも可能）、上映会の目的や、会場・日時、収支計画等を決めてください。

○上映会の目的、対象者を決めてください。

「見えないから見えたもの」上映会の趣旨をご理解の上、自主上映会の目的、見ていただきたい対象者を決めてください。少人数向けの上映会でも大丈夫です。

○上映会の「会場・日時」

文化会館 / 図書館・公民館 / 学校・体育館 / 空き店舗 / 野外、等 主催者様で、アイデアを出し合うプロセスも楽しんでください。会場の空き状況から、日時を設定されるとスムーズです。

○上映会の内容を検討

映画の上映と下記のイベントを組み合わせることができます。

●講演会やトークショー（ゲスト例）

映画監督 山本 守

○収支計画を立てる

収入：入場料金 × 鑑賞人数

支出：上映会開催料金・会場費・上映機材手配費・宣伝材料費・印刷費・通信費など

※自主上映会申請書は「見えないから見えたものをみんなで広める会ホームページ」よりダウンロードできます。

※申請書送信後、事務局に電話でご一報お願いします。

<http://eigakatakeuti.jimdo.com/>

3) 上映会申請書を普及の会にてチェック

申請書の記載内容に不備などないかチェックいたします。不明点がありましたら主催者様に確認をさせていただきます。

※チェックに1ヶ月ほどかかります。余裕をもって自主上映会申請書をお送りください。

4) 自主上映会開催決定通知

自主映画申込書の内容に不備がなく妥当と判断された場合、主催者様に決定の通知をいたします。

6) 宣伝活動

チラシの作成配布、ポスターの掲示など、宣伝活動を行います。「誰に、この映画を観てもらいたいかな？」などメインとなる対象をスタッフ間で話し合い、たくさんの方に観てもらえるように頑張りましょう！
※宣伝物（チラシ・ポスター）は「見えないから見えたものをみんなで広める会ホームページ」よりダウンロードもできます。

7) チケットの作成

チケットを配布することで、来場者へのリマインド効果が期待できます。また、来場者数の集計にも便利です。

8) 上映会本番

事務局から上映会の 7 日前迄に上映用ディスクをお届けします。事前に、当日の「プログラムの確定」、「配布資料の準備」をお願いします。受付、会場整理、会場案内、司会、会計などの役割分担もお願いします。上映ディスクが届き次第、「映写チェック」を必ず行ってください。
※当日の様子が分かる写真（会場内 / 可能であれば集合写真）の撮影をお願いします。

9) 上映会終了後

「上映ディスク」は、上映会終了後 1 週間を目安に事務局へお送りください。上映会の模様を、「開催レポート」に記入して、事務局へ郵送またはメールにてお送りください。当日の写真も添付お願いいたします。普及の会ホームページにて全国の皆様にご報告致します。

10) 思いやりのバトンを次の主催者さんへ！

上映会の開催に興味を持ってくださった方を、サポートいただけたら幸いです。思いやりの心の輪を広げていきましょう！！

4. 「上映会開催費用」について

映画「見えないから見えたもの」は、多くの皆様のご寄付によって企画・製作されました。普及の会では、一人でも多くの方に見ていただくことで社会から“いじめ”をなくし子どもたちが心豊かにくらする日本を作りたいと願っています。その趣旨にご理解いただき、上映会の開催をご希望される方に無料にて「上映ディスク」をお貸ししております。

5. 上映用BD<ブルーレイディスク>・宣伝物について

■上映用BD

※作品上映時間 1 時間 45 分、画面比は（16 : 9）

映画「見えないから見えたもの」はデジタル上映会のみに対応しております。メディアはブルーレイディスク（BD）のみとなっております。上映用のディスクは 2 枚組み着払にてお送りいたします。

上映会后1週間以内に“上映用BD2枚”をご返却ください。

返却先

映画「見えないから見えたもの」をみんなで広める会 事務局
〒700-0925 岡山市北区大元上町 12-11 TEL. 086-242-3535

■宣伝物

普及の会では上映会用の宣伝物をご用意しております。事前告知にご利用ください。

※宣伝物（チラシ・ポスター）は「見えないから見えたものをみんなで広める会ホームページ」よりダウンロードできます。

■メディアのお届け

上映会メディアはご指定の場所に、上映日の7日前（休日除く）までに宅急便にてお届け致します。お届けの送料は「見えないから見えたもの」をみんなで広める会の負担とさせていただきます。

■上映会に必要な機材環境／機材

主催者様でご用意をお願いします。

【必ずご確認ください。】

※上映会にはBDプレイヤー、プロジェクター、スクリーン、音響機器が必要です。各上映会場の付帯設備をご確認下さい。特に音響設備については注意が必要です。スピーカーの種別や配置方法など。

※上映会用BDが届きましたら、早めに試写を行ってください。機種によっては再生ができない場合がございますのでご注意ください。

※上映会用ディスクの不正なコピー、複製は違法となります。その場合は法的措置を取らせていただきます。

